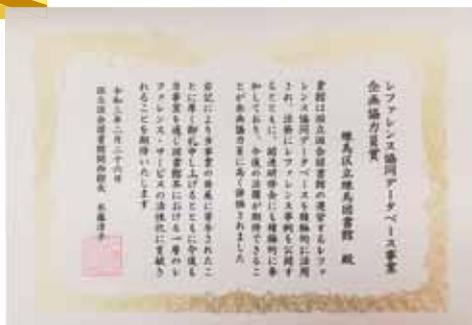


図書館だより

この夏は、涼しい図書館で思う存分
好奇心を満たしてみませんか



練馬図書館のレファレンス事業が令和2年度企画協力員賞を受賞しました。



練馬図書館の活発なレファレンス^{*}事業が国立国会図書館より評価され、令和2年度企画協力員賞を受賞しました。調べもの、気になることがありましたら、図書館職員にお気軽にご相談ください。

※レファレンス・・・みなさんからの質問・相談を受けて調べものに必要な資料を探すお手伝いをする事。

目次

- P.2～3 夏休みは本を読もう！コンパス～君に届けるこの一冊～
- P.4 図書館ニュース デジタルアーカイブのご案内
- P.5 おすすめ本の紹介
- P.6 練馬区立図書館を紹介します～南大泉図書館・分室編～

中学生におすすめ!

過去に発行された「コンパス」掲載図書をいくつか紹介します。

書名 100時間の夜
著者名 アンナ・ウォルツ(作) 野坂悦子(訳)
出版社 フレーベル館



エミリアは父親の起こした問題から逃れるため、一人オランダからニューヨークへと家出します。しかし、住むはずの家は実在せず、偶然出会った兄妹の家に泊まることに。そこへハリケーンが上陸して大停電となります。電気のない生活の中で自分を見つめ直す100時間の物語です。

書名 ぼくのとなりにきみ
著者名 小嶋陽太郎(著)
出版社 ポプラ社



夏休み最後の日、中学一年のハセとサクは、自由研究のために向かった地元の古墳で謎の暗号を見つけます。慎重で大人しい性格のサクとスポーツ万能なハセに、不思議系女子・近田さんも加わり、暗号の解読に乗り出します。

書名 写真で伝える仕事
—世界の子もたちと向き合って—

著者名 安田菜津紀(著)
出版社 日本写真企画



テレビやインターネットが伝えるシリアやイラクの状況、難民、テロなどのニュース。どんなに悲惨な境遇の中でも、子どもたちはそこで生活しています。フォトジャーナリストの著者が語る、伝えること・知ることの大切さとは。

書名 正義の声は消えない 反ナチス・白バラ抵抗運動の学生たち
著者名 ラッセル・フリードマン(著) 渋谷弘子(訳)
出版社 汐文社



第二次世界大戦中、あるピラがドイツ中の郵便受けに投函されました。「白バラのピラ」という見出しのこの紙は、ナチスやヒトラーを強く批判するものです。警察に追われながらもピラを撒き続けたのは、独裁者に抵抗した学生たちでした。

夏休みは本を読もう!

コンパス

~君に届けるこの1冊~

令和3年7月に最新号を発行!



中学生向け表紙

高校生向け表紙



「コンパス~君に届けるこの一冊~」は、中学生・高校生に向けて、おすすめの本を集めた読書案内です。練馬区の図書館で本の選定を行い、年1回発行しています。最新号(令和3年度版)は7月上旬に発行されました。区立図書館や区内中学校、高校等で配布しています。

練馬区立図書館では、読み物や職業の本をはじめ、趣味やスポーツ、雑誌やマンガ、思春期の悩みや課題解決に役立つ本を青少年コーナーに揃え、10代の方が本に親しみ、楽しめる図書館づくりに努めています。「コンパス」掲載図書もおいていますので、お近くの図書館にお立ち寄りください。

区立図書館ホームページから最新号および発行済みの「コンパス」掲載図書がご覧いただけます。

<https://www.lib.nerima.tokyo.jp/seishonen/compass/>



高校生におすすめ!

過去に発行された「コンパス」掲載図書をいくつか紹介します。

書名 エヴリデイ
著者名 デヴィッド・レヴィサン(著) 三辺律子(訳)
出版社 小峰書店



「A」は、毎朝違う人間のからだで目が覚めます。容姿も性格も性別も異なる人生を渡り歩く「A」。宿主となる彼らの共通点は、メリーランド州に住む16歳ということ。そんな「A」の日常はある少女と会うことで大きく変わっていきます。

書名 君が夏を走らせる
著者名 瀬尾まいこ(著)
出版社 新潮社



受験に失敗した少し強面な少年、太田。高校生活にやる気をなくし、毎日をなんとなく過ごしていました。そんな彼が先輩の娘、1歳の女の子の面倒を見ることとなります。慣れない子守りに奮闘しながらも自分の変化に気付く16歳の夏の物語。

書名 世界は変形菌でいっぱいだ
著者名 増井真那(著)
出版社 朝日出版社



5歳の時に変形菌と出会い、魅了された著者。飼育と研究を続けて10年になりました。その間に体験したことや学んだこと、出会いを、菌の魅力とともに紹介します。好きなことを続けて世界を広げた高校生の話です。

書名 僕たちが何者でもなかった頃の話しよう
著者名 山中伸弥、羽生善治、是枝裕和、山極壽一、永田和宏(著)
出版社 文藝春秋



かつては枝監督は真実を曲げた映像を作り、手術が苦手な山中教授は「ジャマナカ」と呼ばれていた...!?そんな苦い経験を経て今があることを、各界の著名人が若者に向けて語った、京都産業大学での講演と対談を収録した一冊です。



図書館ニュース



デジタルアーカイブのご案内

練馬区立図書館では、所蔵している貴重資料の一部をデジタル化してインターネット上で公開しています。公開している資料は、ご自宅のパソコンやスマートフォンからどなたでも閲覧することができます。図書館ホームページ上のバナーからいつでもアクセスすることができます。ぜひご利用ください。



貫井図書館アーカイブ

新たに加わりました!

地域資料

地域資料『中むらの昔』(著者:菅原シゲ子氏)をデジタル化し公開しました。大正12年に当時の「東京府北豊島郡中新井村大字中」現在の練馬区中村で生まれ育った著者が、昭和の初め頃の農家の暮らしや年中行事、子供たちの遊びなどをつづった地域資料です。自筆の絵や中村地域の地図などもあり、今は住宅街となっている中村の町が、田んぼや畑に囲まれた農村だったころの生活や文化を知ることができます。

この冊子は、菅原氏より区内図書館にご寄贈いただきましたが、年月の経過とともに傷みが進み、いずれは利用ができなくなる恐れがありました。かつての農村風景や人々の暮らしを知ることができる貴重な史料を保存し、後世に残すためにデジタル化を行い、広く多くの皆様にご利用いただけるよう、このたびインターネットで公開をいたしました。

和装本

貫井図書館で所蔵している和装本をデジタル化しています。江戸時代に出版された歴史書『日本外史』を初め、四書五経などの教養本や、能を稽古するための謡本など全109タイトルが、はっきりと文字が読める高精細画像で閲覧できます。「和書一覧」「漢籍一覧」をクリックすると、それぞれの一覧画面が表示されます。



稲荷山図書館アーカイブ

稲荷山図書館には、公共図書館では珍しい昆虫コーナーがあり、多数の昆虫資料や標本を所蔵しています。中でも貴重な資料57点をデジタル化しています。世界でも有名な蝶の図鑑「世界大型鱗翅目図鑑」を初めとした昆虫図鑑を閲覧できます。

練馬区立図書館職員がおすすめする、『わたしの愛読書』

子どもから大人まで

『秘密の花園』

フランシス・ホジソン・バーネット／著 畔柳和代／訳 新潮社

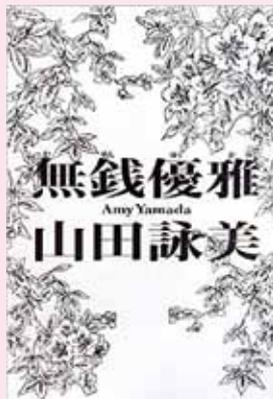


遠いインドでいちどに両親を失ったメアリは、イギリスに住む陰気で変わり者のおじさんの家に引き取られてきます。大きなお屋敷には、遊び相手はだれもいませんでした。だれも入ることを禁じられている廊下の奥から、ある日、子どもの悲痛な泣き声が聞こえてきます……。少年と少女の出会いと心の再生を描いた名作です。

大人向け

『無銭優雅』

山田詠美／著 幻冬舎



花屋を営む斎藤慈雨と予備校の講師北村栄が、42歳迄それぞれの人生を過ごし、運命か成り行きか西荻窪のジャズバーで出会います。贅沢をしなくても二人の幸せな時間がある一方、愛情を育むからこそ「死」が身近になり意識せざるを得なくなります。相手を慈しむ会話は、何度読み返しても嬉しい。作者の力量に圧倒される、大人の極上恋愛小説です。

『霧のむこうのふしぎな町』

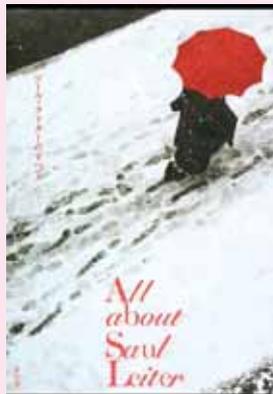
柏葉幸子／著 杉田比呂美／絵 講談社



6年生のリナは、夏休みを霧の谷で過ごすことにしました。霧の谷に向かう途中、傘が飛ばされ追いかけていくと、深い森の中に洋館が並んだ不思議な町にきていました。そこが霧の谷だったのです。リナは、いじわるなピコットばあさんのところに住まわせてもらうことになり…。小学生の時に初めてはまったファンタジーの本です。

『ソール・ライターのすべて』

ソール・ライター／著 青幻舎



「私が写真を撮るのは自宅の周辺だ。神秘的なことは馴染み深い場所で起きると思っている。なにも、世界の裏側まで行く必要はないんだ」著者の作品には、ニューヨークの通りを行き交う人々の、何気ない日常の素敵な一瞬が、切り撮られています。言葉と写真で綴られた日常美が感じられる写真集です。

『木かげの家の小人たち』

いぬいとみこ／作 吉井忠／画 福音館書店



森山家の末娘、九歳のゆりには秘密の仕事がありました。それは、家の書庫に住むイギリス生まれの家族四人の小人たちに毎日ミルクを運ぶことでした。戦争が激しくなりミルク運びが難しくなる中、ゆりは小人たちを疎開先に連れていきます。子どもの頃大好きな本で何度も読み返した、ファンタジー作品です。

『停電の夜に』

ジュンパ・ラヒリ／著 小川高義／訳 新潮社



インド系アメリカ人としての視点で生活の機微を描く短編集です。子どもを亡くした夫婦の5日間を描いた表題作は、二人の会話のみとは思えないほどドラマティックに展開します。政情不安の地から移住してきた男性と少女の交流を通じ、深い喪失感を繊細に描く「ピルサダさんがいたころ」など、読むたびに心が洗われる作品ばかりです。

練馬区立図書館を紹介しす ～南大泉図書館・分室編～

南大泉図書館



ライトノベル、コミックなど青少年向けの資料が充実しています。青少年が気軽に楽しく利用できる図書館を目指していますので、是非、お立ち寄りください。

南大泉図書館は、平成5年6月29日、区内9番目の図書館として開館しました。青少年館と併設されており、青少年への情報発信に力を入れています。青少年向けリーフレット「ふりいぱー」や工夫を凝らしたブックリストの配布など中高生の読書機会を増やすことを心がけています。また、練馬区立図書館ホームページにおいて、青少年向けに毎月さまざまなテーマで読書情報を提供しています。



防災おはなし会の様子

図書館と青少年館共通のコミュニティーホールや玄関前広場では、両館のイベントが開催されるなど、利用者同士のコミュニケーションも盛んです。

南大泉図書館分室「こどもと本のひろば」

区内唯一のこども図書館である「こどもと本のひろば」は、南大泉図書館の分室として、平成25年4月23日に開館しました。「こどもと本のひろば」は、乳幼児から小学校低学年までの図書や、育児・料理などの図書が充実している図書館です。館内ではあかちゃん向けのおはなし会や、おたのしみ会、こうさく会、かがくあそびなど幅広い事業を行っており、英語関連の事業も充実しています。

授乳室やカーペット敷きの絵本スペース、お子様用トイレなど、子育て世代にやさしい設備を完備していますので安心してご利用ください。



南大泉図書館分室「こどもと本のひろば」が子供の読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受賞しました



おはなし会の様子

表彰式は4月23日に国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)で行われました。

南大泉図書館分室「こどもと本のひろば」が令和3年度の「子供の読書活動優秀実践校・図書館」として文部科学大臣表彰を受けました。この表彰は、子供が積極的に読書活動を行う意欲を高める活動について優れた実践を行っている学校や図書館、団体(個人)を表彰しているものです。

この度は、「こどもと本のひろば」でのおはなし会などの子供の読書活動の促進や活性化、家庭での読書支援、地域の保育園、学校、関係機関、団体等との連携・協力等が評価されての受賞となりました。

